

東林山 法雲寺

〒667-1311兵庫県美方郡香美町村岡区町村岡2365

TEL:0796-98-1151・1161 FAX:0796-98-1168

# 法雲寺報

<http://www.houun.net> Eメール: [kouryu@houun.net](mailto:kouryu@houun.net)

## 「お盆」の意義って？

今年もお盆月となりました。そろそろお墓掃除・お仏壇の飾り等の準備が気にかかる頃です。今回は「お盆供養幡」なるものを準備いたしましたのでお仏壇飾りの時にご使用ください。(詳しくは裏面紹介文及び包みの説明書参照)

昔よりお盆は「地獄の蓋が開く月」とか、比較的新しいご先祖(精霊)が里帰りされて、お盆の間は家に留まれる。その間家人はご先祖の為に供養を行います。また、お盆の間に自分のご先祖だけでなく有縁無縁のあまたの精霊に対しても分け隔て無く接し供養することは大きな功德があり、ご先祖にも在世の我々にも共に禍いなく、心の平安が得られると言い伝えられています。まあ、そんな事よりも我々の受け止め方としては、年中行事の一つとして当然の如く受け入れられている方が大方でしょうか？

今の時代お盆という風習には単なる年中行事として以外、どんな意義を求めれば良いのでしょうか？

私自身の勝手な解釈をさせてもらおうと、お盆を迎えることが出来る自分を取り巻く周囲に対して感謝をする時期ではないかと思えます。自分を取り巻く周囲ですから、その対象は家族や普段は遠く離れて暮らす親族、近隣の方々を始め、当然、今に至る繋がりを作ってくれたご先祖もそうでしょう。考え方を換えれば、接するすべてに対して柔和な気持ちを持って接する期間とも考える事が出来る様に思えます。

この10年ほどの間のことでしょうか、日本は国を挙げて無駄を切り捨て、一途にガツガツと効率を追求して走って来ているように思えます。効率を追求するということは時間当たりの成果(儲け)を増やす事に他ならず、時間当たりの成果が増えたなら、一日当たりの成果も増やしたいと考えるのが人情です。

社会全体が効率を追求して得たものは「楽が出来る」社会ではなく、もっと多くの成果を得るた

めに休む間も削って更に効率を追い続ける「息つく暇もない」輪廻を繰り返している社会ではないでしょうか。

昔に比べて時間の進み方が早く感じるのは社会全体が「早く早く、もっともっと沢山」という風に急かしているせいかも知れません。

効率を求める社会においては、物事の判断や価値は自ずと眼にする事が出来る数値的・客観的基準に基づいて下されます。しかし世の中の事象全てを数値化するようなことは不可能なことで、例えば人の気持ちや思いやりのような眼に見えないことを数値化することなど出来ません。

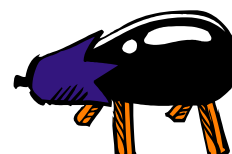
IT社会と言われる昨今、数値化できることのみを取扱いそれがあたかも社会を全て網羅しているように錯覚している所がないでしょうか？

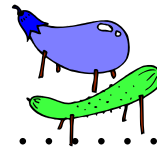
4月末にJR福知山線で起きた脱線事故は「乗客を物」とみなした前提の上で「カタログ上の安全」(全てが好条件である中での安全)だけを確保し、その他の余分を全て削り落とし効率化を極端に追求した結果、起きた必然の事故とも言えます。

整備された条件内では整合性はあるけど、それが少しでも狂うと意外ともろい、今の社会の縮図を見るような思いを抱かれた方は多いと思います。自動車のハンドルやアクセルの如く多少の遊びの部分が無くては、気楽に運転も出来ません。

「眼に見えること」を対象に数値的に置き換え、え、効率という尺度で考える場面と、少しゆったりと「眼に見えないこと」までも思い巡らし考える場面とを切り分ける、又は融合させる智慧が必要では無いでしょうか。

誰も眼にした人は居ないのですが、お盆には地獄の蓋が開くそうです・・・どうか、この期間心のアンテナを広げて、日常の中で見失いがちになっている何かを感じて頂ければと思います。





## 「お盆供養幡」について

村岡では河川浄化の観点から川原での仏送りの風習がなくなり10年以上も経ちます。その間、旧来の仏送りに変わる何らかの方法がないかと彼是考えていたのですが、今年は右図のお盆供養幡を準備しました。お盆の間、仏壇の前に細い棹を渡し、火の気から離して吊って頂いても、袋ごとお仏壇に安置して頂いても結構で

す。8月15日夕刻か16日午前中にご自宅又はお墓で水を掛けて溶かして、仏送りの代わりとしてください。詳しくは袋の説明書きをお読み下さい。尚、関東方面等既にお盆を終えられている方々はお彼岸のお墓参りの折に、持参され、墓所で自然に帰して頂ければ結構かと思ひます。



お盆供養幡

## 棚経の日程及び、施餓鬼のご案内

期日	午前	午後	期日	午前	午後
8月7日	大阪 和歌山		8月11日	野々上	川上
8月8日	板仕野・宿		8月12日	新町・中西	西本町
8月9日	用野・鹿田		8月13日	東上 東中・本町	
8月10日	八鹿・豊岡	香住・川会	8月14日	本町・殿町	

本年度の棚経の予定ですが、上記のように例年通りの日程で回らせて頂きたいと思ひます。若干時間等がずれる場合も有りますが、その際

はお許し下さい。尚、日程変更のご希望が御座いました法雲寺までご連絡下さい。

### 施餓鬼のご案内

期 日	会 場	参 加 者
8月15日午前10時より	法雲寺本堂	今年初盆をお迎えになる各家及び参列希望各家

## 濱田先生記念室開館

山名史料館史料充実に多大なご協力を賜りました濱田叡観(義明)師が昨年5月逝去され、その一周忌を兼ね、6月26日に今まで寄進下さいました各種史料を山名蔵2階に集大成し「濱田先生記念室」として開館する式典を挙行いたしました。

式典には濱田先生ご遺族を始め、ご来賓の谷衆議院議員・丸上県議・藤原香美町長、法雲寺檀家・町

内外有志等約60名のご出席の下、開館の宣言とお披露目をさせて頂きました。

また、式典終了後は講師にお招きした小山先生の「史料美術品の見方」と題した講演を記念室館内で実物を鑑賞しながら行い、共に審美眼に磨きをかけて頂きました。

山名蔵・記念室共に随時開放いたしておりますので、拝観希望が御座いましたらお気軽にお声掛け下さい。



講演風景

## 特別寄進のご報告

ご協力誠に有難う御座います。